

133000JKBQ03

J1



takagi

蛇口一体型浄水器 みず工房

取扱説明書

みず工房コンバージョン

■アフターサービスについて

本商品に関する事柄は、当社までお気軽にお問い合わせください。

- 水栓の修理や設置
- 破損した部品の交換
- 浄水器や浄水カートリッジに関するお問い合わせ
- その他お問い合わせ

タカギ・コミュニケーションセンター

みずはよい水

通話料
無

0120-328-413

電話受付:24時間(年中無休)
<http://www.takagi.co.jp/>

株式会社 タカギ



このたびは、タカギの蛇口一体型浄水器みず工房シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書と保証書の内容をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
その後大切に保管し、わからないときは再読してください。

■ 安全上のご注意	p.1	はじめに
■ 各部の名称・特徴	p.10	使い方
■ 使い方	p.11	
初めてお使いいただく前に	p.11	
適温調節	p.11	
水栓の使用方法	p.12	
浄水器部の使用方法	p.13	
水形、浄水/原水の切り替え方	p.14	
浄水カートリッジの交換	p.15	
浄水カートリッジの交換方法	p.16	
使用済み浄水カートリッジの処分について	p.16	
■ 凍結予防について	p.17	お手入れ
通常仕様の凍結予防	p.17	
寒冷地仕様の凍結予防	p.17	
■ お掃除・お手入れの仕方	p.19	
お掃除・お手入れについて	p.19	
吐水部、ストレーナーのお掃除	p.21	
吐水部のお掃除の仕方	p.21	
ストレーナーのお掃除の仕方	p.23	
水形アダプター(整流・泡沫)について	p.25	
水形アダプターの取り替え方	p.26	
その他の部位のお掃除の仕方	p.26	
定期的な点検	p.27	
■ 故障かな?と思ったら	p.28	こんなときは
緊急時の水の止め方	p.28	
お問い合わせの前に	p.28	
■ 分解図	p.31	その他
■ 補修部品	p.32	
■ 製品の点検・交換スケジュール	p.33	
■ 商品仕様	p.33	
■ 保証書	p.34	





安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるように大切に保管してください。
- この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	記号は、してはいけない「禁止」行為であることを示しています。
	記号は、触れてはいけない「接触禁止」を示しています。
	記号は、してはいけない「分解・改造禁止」を示しています。
	記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告 けがをするおそれがあります



接触禁止

メッキ面が剥がれた場合は、剥がれた所を触らずに修理を依頼してください。(メッキ部品に鋭利な物や硬い物を当てるとそこから腐食などが進行しメッキ面が剥がれ、けがをするおそれがあります)



警告 やけど・けがをするおそれがあります



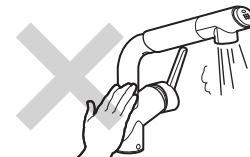
禁止

小さなお子様だけでのご使用は避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



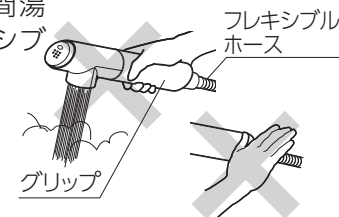
警告 やけどをするおそれがあります

水栓に向かって左側には直接触らないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。

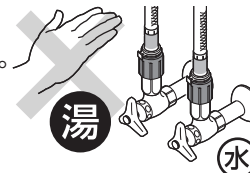


接触禁止

高温の湯を使う場合または長時間湯を流し続けるとグリップやフレキシブルホース、接続部などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。直接触らないでください。



湯側の配管には直接触らないでください。やけどをするおそれがあります。

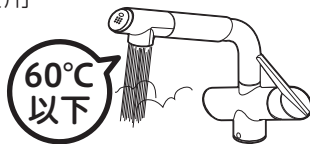


安全上のご注意

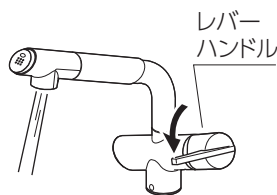
はじめて

警告 やけどをするおそれがあります(つづき)

湯をご使用の場合は60℃以下で使用してください。

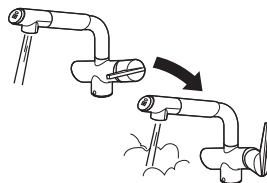


高温の湯を使用したあと、次に使用する際に高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
必ずレバーハンドルを水側に戻し、高温の湯が出なくなるまで吐水してください。

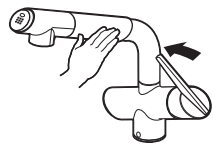


必ず実行

湯を使うときは、必ず水側から吐水し、ゆっくり湯側に回して温度を調節してください。



浄水器部を掃除する際は、レバーハンドルで止水し、グリップとフレキシブルホースが熱くないことを確認してください。



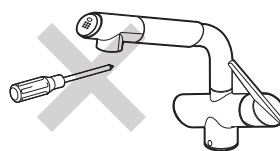
正常な温度調節を行うために、給湯圧力を給水圧力より低くするか、同圧にしてください。給湯圧力を加圧する場合も同様です。

警告 けがや水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



分解・改造禁止

分解はp.19~p.27「お掃除・お手入れの仕方」で記載された項目以外はしないでください。故障や水漏れの原因になります。



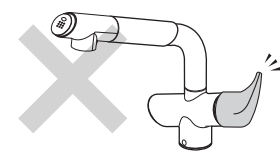
はじめて

警告 けがや水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります(つづき)



分解・改造禁止

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。故障や水漏れの原因になります。



必ず実行

長期にわたるご使用により、部品が劣化・摩耗などで破損する可能性があります。
定期的に(2回以上/年)キャビネット内や点検口内など、配管周りのガタツキや水漏れがないか確認してください。



ガタツキ・水漏れ確認!

警告 逆流するおそれがあります



必ず実行

ネジ式カプラは、3~5年毎に交換をしてください。

ネジ式カプラ



注意 けがをするおそれがあります



接触禁止

レバーハンドルとスパウトの間で指をはさみ、けがをするおそれがあります。

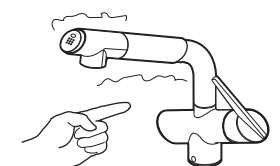


本体部



必ず実行

ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やメッキ部品の表面が割れ、けがをするおそれがあります。
万一、部品の破損やメッキ部品の割れを発見した場合は、修理を依頼してください。



安全上のご注意

⚠️ 注意 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

浄水カートリッジ以外の消耗品も、定期的な交換が必要です。



必ず実行

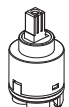
レバーハンドル ネジ式カプラ ワンタッチカプラ



浄水器部



セラミックバルブ



フレキシブルホース



シャワースクリーン



逆止弁付き水抜き継手
【寒冷地仕様のみ】

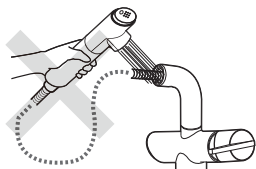


※詳しくはp.31「分解図」、p.32「補修部品」ならびにp.33「製品の点検、交換スケジュール」を参照してください。



水かけ禁止

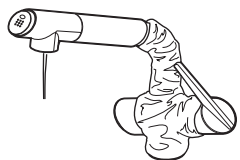
本体部に向けて水をかけないでください。水がフレキシブルホースなどをつたい、流し台の下に漏れることがあります。



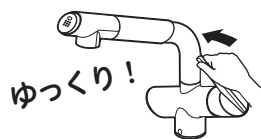
必ず実行

凍結が予想される際は、室温を下げないようにして水栓を布などの保温効果のあるもので包むか、水栓から少量の水を流し続けてください。

※p.17～p.18「凍結予防について」を参照してください。

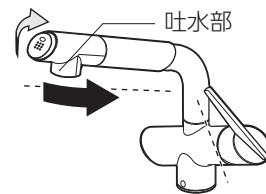


レバーハンドルを勢いよく閉めると、配管を破損し、水漏れを起こすことがあります。ゆっくり操作してください。



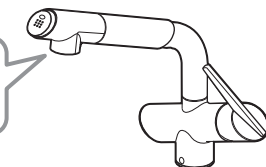
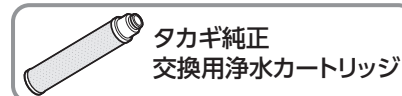
⚠️ 注意 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります (つづき)

この水栓は、構造上左右に可動します。シンクより吐水部がはみ出す場合がありますので、ご使用の際は吐水部の位置を確認してから水を出してください。



必ず実行

交換用浄水カートリッジは必ず純正のものを使用してください。



⚠️ 注意 家財などを破損するおそれがあります (ディスポーザー設置の方)

ディスポーザーをご使用の際は、「原水」で水形を「ストレート」にして、レバーハンドルを水側いっぱいまで回して使用してください。「浄水」や「シャワー」、「温水」でディスポーザーを使用すると、流量不足により粉碎物が配管に詰まる可能性があります。

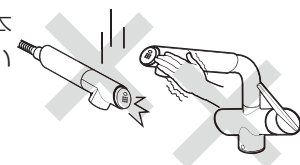


必ず実行

※上記に加え、「浄水」で使用の場合、浄水カートリッジの交換時期が早まります。

⚠️ 注意 故障や水漏れの原因になります

浄水器部を落としたり、浄水器部や本体部に強い力や衝撃を与えたりしないでください。



禁止

安全上のご注意

⚠️ 注意 故障や水漏れの原因になります(つづき)

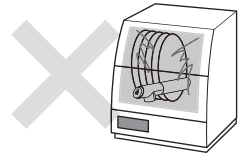


禁止

浄水器部やレバーハンドルに重い物を下げたり、力をかけて回したりしないでください。部品の破損の原因になります。



浄水器部を取りはずし、食器洗い乾燥機などで洗わないでください。



⚠️ 注意 故障の原因になります

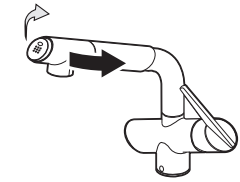


必ず実行

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温で使用すると、製品の破損や変形により、機能を損なうおそれがあります。



可動部分が固くて動きが悪い場合は、水アカの固着や潤滑剤切れの可能性があり。そのまま放置すると故障の原因になりますので、修理を依頼してください。



⚠️ 注意 体調を損なうおそれがあります



必ず実行

水道水の飲用基準に適合した水を使用してください。

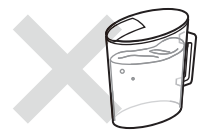


⚠️ 注意 体調を損なうおそれがあります(つづき)



禁止

浄水は汲み置きしないでください。水道水中の残留塩素が除去されているので、浄水中での雑菌の繁殖が早まります。



吐水部を汚れた手で触れたり、浄水器部を水没させたりしないでください。雑菌が増えやすくなります。

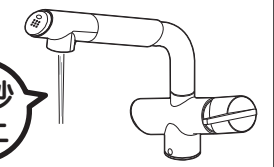


吐水部



必ず実行

2日以上使用しなかった場合は20秒以上浄水を流してから使用してください。



⚠️ 注意 浄水能力が低下します

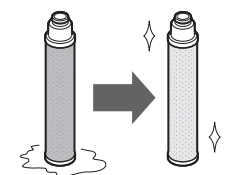


必ず実行

浄水は水側でご使用ください。浄水器に湯を通水すると、一時的に活性炭に吸着された成分(においなど)が流れ出る可能性があります。浄水した湯を使用する場合は一度沸騰させてください。



交換時期を経過した浄水カートリッジは、必ず交換もしくは取りはずしてください。



安全上のご注意

各部の名称・特徴

使い方

⚠️ 注意 魚などが死ぬ原因になります



禁止

浄水を魚などの飼育水には使用しないでください。
水質、環境などが変わり、魚などが死ぬ原因になることがあります。



寒冷地仕様

⚠️ 警告 やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



禁止

逆止弁付き水抜き継手は、水抜き以外の目的で開けないでください。また、湯側の水抜きをする場合は、事前に湯側で吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

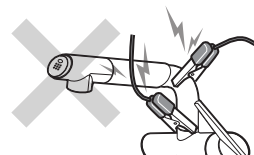


⚠️ 注意 家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



禁止

解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。水栓が通電による発熱で破損するおそれがあります。

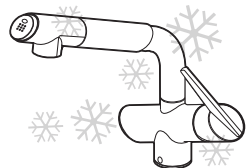


⚠️ 注意 故障の原因になります

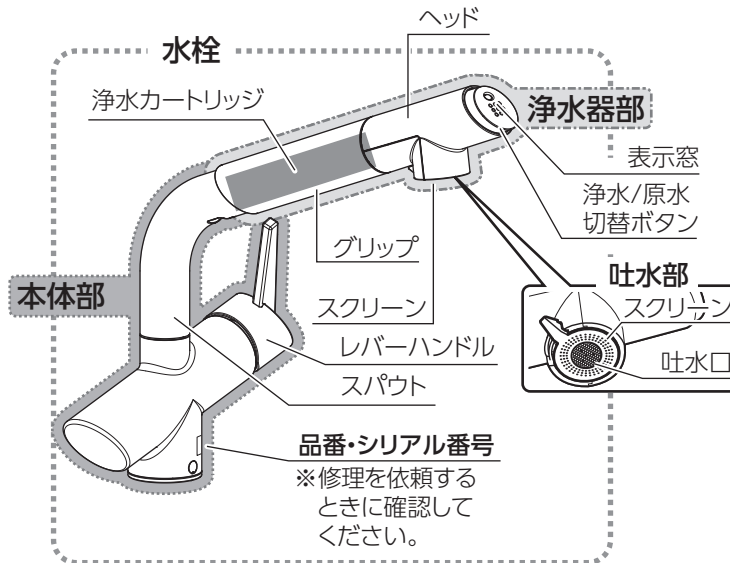


必ず実行

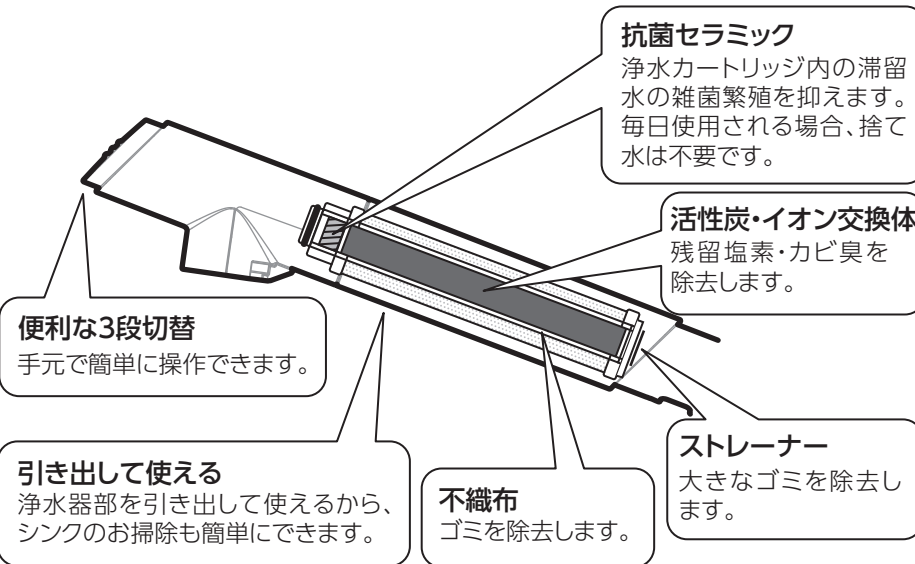
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、p.17～p.18「凍結予防について」を参照し、確実に実施してください。



各部の名称



特徴



使い方

使い方

初めてお使いいただく前に

- ・浄水カートリッジを取り付ける前に、水道水の濁りがなくなるまで水を流してください。
- ・正常に吐水することをご確認いただき、吐水部、ストレーナーの掃除をしてください。(p.19~p.25「お掃除・お手入れの仕方」を参照してください)

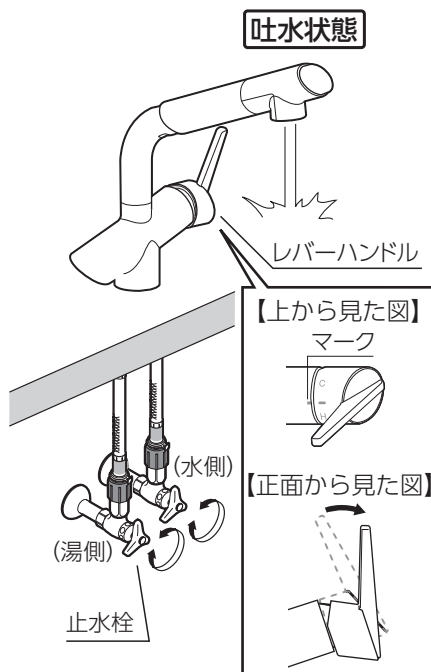
⚠️ 注意

配管中のゴミやサビなどが流れ出て、浄水カートリッジが目詰まりしたり、吐水口やストレーナーが詰まったりするなど、正常に吐水しない場合があります。

適温調節

調節の仕方

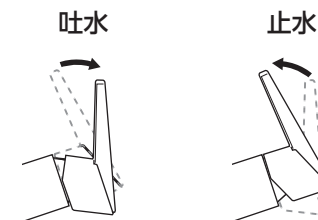
使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように、水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



水栓の使用方法

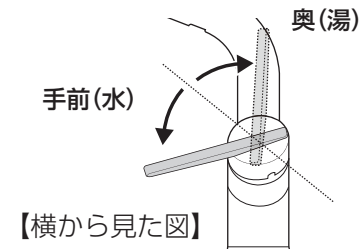
吐水・止水・流量調節

レバーハンドルを下へ傾ければ吐水、戻すと止水します。



温度調節

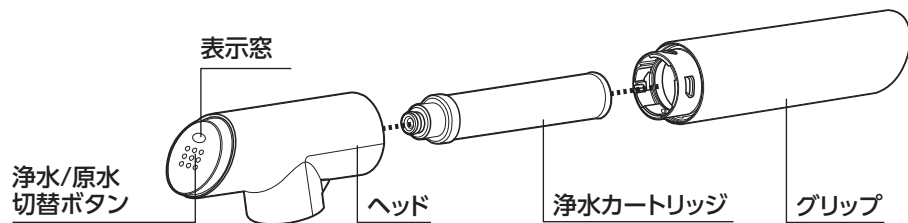
レバーハンドルを手前に回せば水に、奥へ回せばお湯になります。



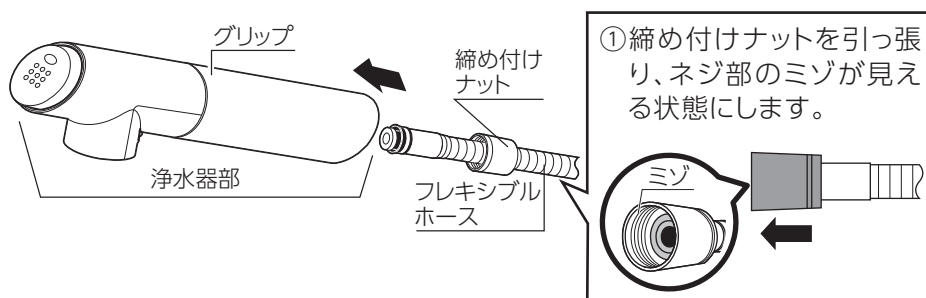
使い方

浄水器部の使用方法

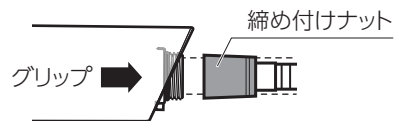
各部の名称



取り付け方

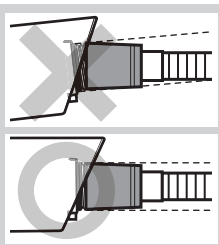


② 浄水器部のグリップを持って締め付けナットにまっすぐ入れます。

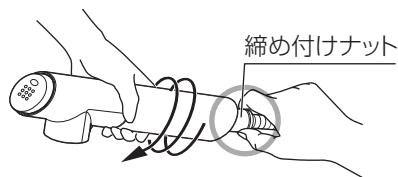


⚠ 注意

浄水器部は斜めに取り付けないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。



③ 締め付けナットを固定してグリップを回転させて取り付けます。

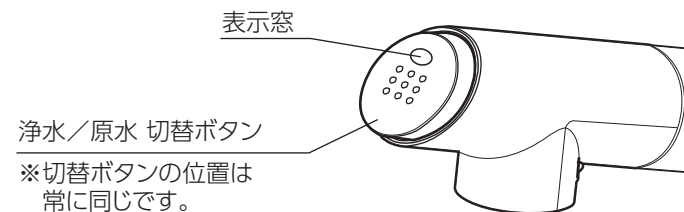


⚠ 注意

フレキシブルホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因になります。

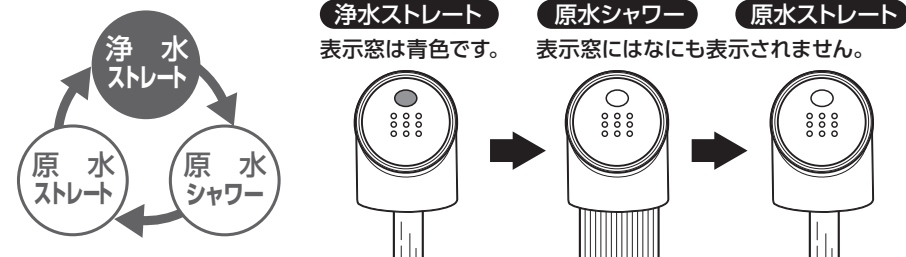
水形、浄水/原水の切り替え方

各部の名称



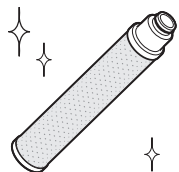
浄水/原水の切り替え方

切替ボタンを押すたびに、浄水ストレート→原水シャワー→原水ストレートと切り替わります。



浄水カートリッジの交換

きれいな水をいつでもお使いいただけるよう、浄水カートリッジは定期的に交換してください。



交換サイクルの目安		
交換サイクル	推奨家族人数	浄水使用量の目安 (1日あたりの使用量)
2か月	5人以上	20L
3か月	3~4人	13L
4か月	1~2人	10L

※浄水カートリッジの種類により、形状は異なります。

※以下のような場合は交換サイクルの目安に関係なく浄水カートリッジを交換してください。

- 浄水量が少なくなった。
- においがするようになった。

○浄水カートリッジの目詰まりについて...

水道水は一年中一定の水質状態を保っているわけではないため、水質の変化によって浄水カートリッジの目詰まりが早くなることがあります。浄水の水の出が悪くなった場合は、早めの交換をお勧めします。また、タカギは「原水」を通水することで、浄水カートリッジ表面に溜まった微細なゴミを洗い流す「自動クリーニング」機能を搭載しています。食器洗いなどの水仕事は「原水」を使用するなど、浄水 / 原水をうまく使い分けていただくことで、交換サイクル内で浄水カートリッジも長持ちします。

浄水カートリッジの交換サイクルの変更・ご相談について

蛇口一体型浄水器に関するご不明な点や浄水カートリッジの交換時期の変更をご希望のお客様は下記の連絡先へお気軽にご連絡ください。

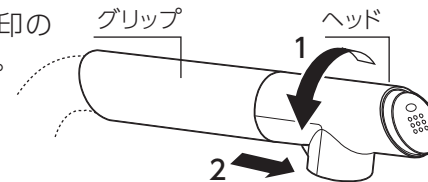
タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水

通話料 無料 **0120-328-413**

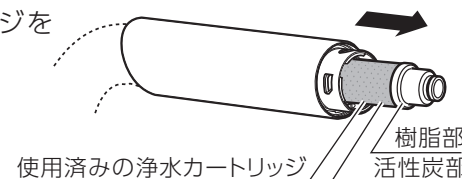
電話受付:24時間(年中無休)
http://www.takagi.co.jp/

浄水カートリッジの交換方法

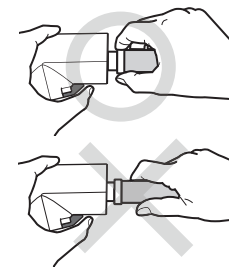
①グリップを固定してヘッドを矢印の方向に約40°回してはずします。



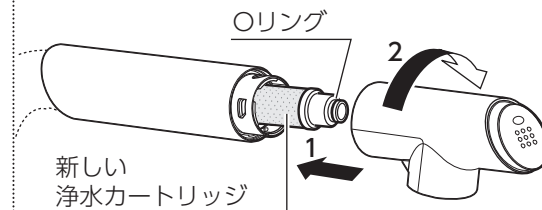
②使用済みの浄水カートリッジを取り出します。



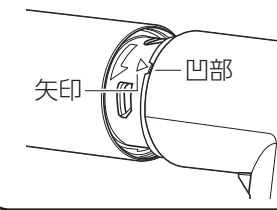
ヘッドをはずす際に、浄水カートリッジと一緒に出てきた場合は、浄水カートリッジの樹脂部を持ってまっすぐ引き抜いてください。活性炭部を持って引き抜くと樹脂部と分離して浄水カートリッジが破損し、浄水カートリッジの取り替えができなくなるおそれがありますので注意してください。



③新しい浄水カートリッジをグリップに入れ、ヘッドをグリップにハメ込み、矢印の方向へ回転させます。



ヘッドの凹部をグリップの矢印に合わせてハメこみます。



使用済み浄水カートリッジの処分について

使用済みの浄水カートリッジは、各自治体の区分に従い、プラスチックゴミとして処分してください。

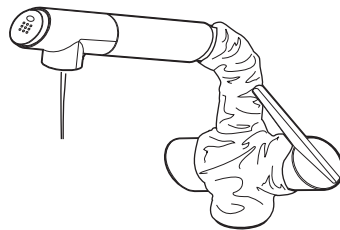
凍結予防について

- 水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となりますので注意してください。
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。氷点下になる場合は、次の処置を行ってください。

通常仕様の凍結予防

以下の処置を行うと凍結を予防できる場合があります。

- できるだけ室温を下げないようにして、水栓を布などの保温効果のあるもので包む。
- 水栓から少量の水を出しておく。

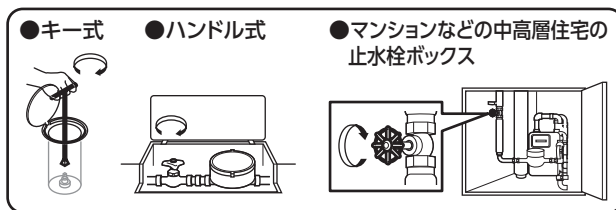


寒冷地仕様の凍結予防

水抜きの方法

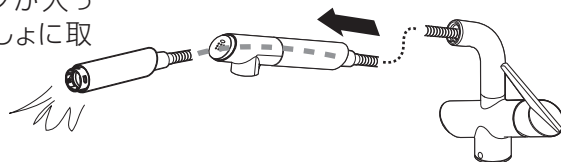
①配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

※レバーハンドルを下げ前後に動かし、水側・湯側どちらも止水していることを確認してください。

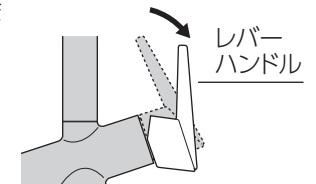


②浄水器部を最大限に引き出し、ヘッドをはずした状態でシンクに置いてください。(浄水カートリッジが入っている場合はヘッドといっしょに取りはずしてください。)

ヘッドの取りはずし方はp.16「浄水カートリッジの交換方法」を参照してください。

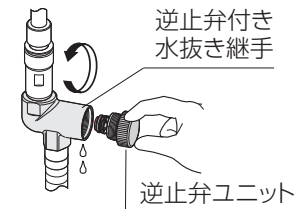


③レバーハンドルを中央で下げ、吐水状態にします。



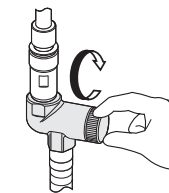
④逆止弁ユニットを図のようにはずし、フレキシブルホース及び水栓の水を十分に抜いてください。

※逆止弁ユニットの紛失にご注意ください。
※このとき逆止弁付き水抜き継手の中から水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。



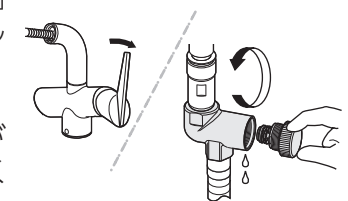
⑤水が完全に出なくなったら、図のように逆止弁ユニットを取り付けます。その後、レバーハンドルを止水状態にし、浄水器部を元に戻してください。

※逆止弁付き水抜き継手を動かすなどして、無理やり水を出さないでください。

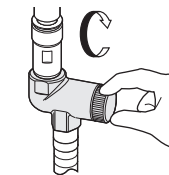


⑥レバーハンドルを吐水状態で湯側いっぱいにしたあと、逆止弁ユニットをはずし、フレキシブルホース及び水栓の水を十分に抜いてください。

※逆止弁ユニットの紛失にご注意ください。
※このとき逆止弁付き水抜き継手の中から水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。



⑦水が完全に出なくなったら、図のように逆止弁ユニットを取り付けます。その後、レバーハンドルを止水状態にし、浄水器部を元に戻してください。



⑧再使用時に配管部の止水栓などにより通水を再開し、水漏れがないことを確認してください。

お掃除・お手入れの仕方

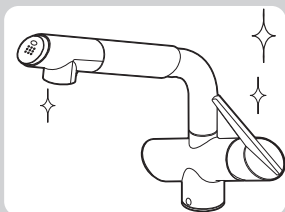
お掃除・お手入れについて

水栓をいつまでも美しく快適に使用するために、日頃からお掃除・お手入れを行ってください。

水栓の汚れは柔らかい布を水で濡らし、固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

水栓をきれいに保つためのコツ

水仕事が終わったあと、水栓に水滴を残したままにしておくとう水道水中のミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)やホコリが乾燥し、水アカとなって付着してしまふことがあります。一日の水仕事のあとに、乾いた布などで水滴を拭き取ることできれいな状態を維持できます。

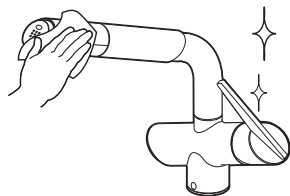


注意 水栓が傷つく原因になります



必ず実行

水栓を拭くときは、必ずやわらかい布をご使用ください。



禁止

浄水器部を水や漂白剤などに漬けないでください。付着した汚れが通水器部に浸入したり、メッキ部分が破損したりするおそれがあります。

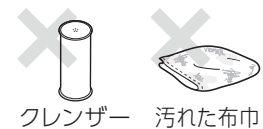


注意 水栓の故障や傷つく原因になります



禁止

磨く場合には清潔な柔らかい布で拭いてください。金属たわしやナイロンたわし、クレンザー、メラミンスポンジなどは使わないでください。



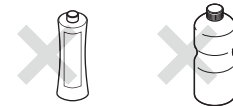
クレンザー 汚れた布巾

※メッキ表面が傷つき、製品の破損や故障の原因になります。メッキ表面が傷つくと傷に汚れがたまり、それまで以上に汚れ易くなる可能性があります。



ナイロンたわし
メラミンスポンジ
金属たわし

洗剤(酸性・アルカリ性)、油、ワックス、シンナー、ベンジン、漂白剤などを使用すると、薬品が水栓を侵し、破損や故障の原因となるおそれがあります。使用しないでください。



酸性洗剤
アルカリ性洗剤 漂白剤

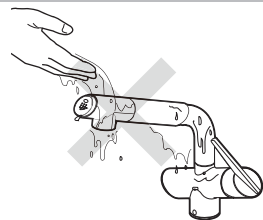
※間違っ使用した場合は、柔らかい布を水で濡らし固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

注意 故障や水漏れの原因になります



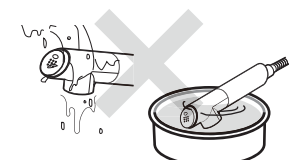
禁止

浄水器部やレバーを丸洗いしたり、直接水をかけたりしないでください。



泡がついた場合は、柔らかい布を水で濡らし固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

切替表示部は完全に密閉されていない為、水が浸入します。浄水器部に直接水をかけたり、水没させたりしないでください。



お掃除・お手入れの仕方

吐水部、ストレーナーのお掃除

浄水器吐水部やグリップのストレーナーおよび各接続部は水アカなどで目詰まりを起こしたり、動きが悪くなったりすることがあります。機能低下を防止するため、定期的にお掃除を行ってください。

※p.19～p.27「お掃除・お手入れの仕方」を参照してください。

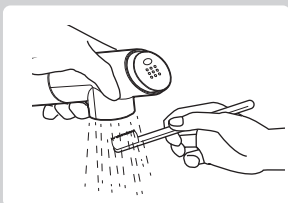
※お掃除の際は、小さな部品の紛失・組み忘れに注意してください。

吐水部のお掃除の仕方

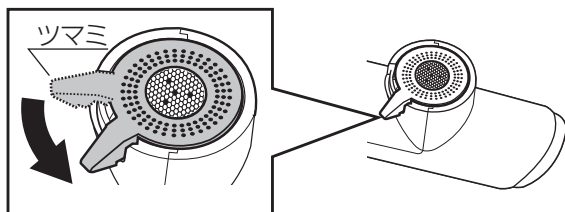
シャワーの出方が乱れたり、吐水口の網が汚れたりした場合は、以下の手順で吐水部のお掃除を行ってください。

日頃のお手入れは…

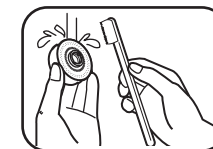
「原水」で水を少量流しながら、吐水部を清潔な歯ブラシなどでこすり、汚れを洗い流してください。歯ブラシでこする際は、吐水部の穴の汚れをかき出すようにしてください。最後に清潔な乾いた布で水滴を拭きとってください。



- ①スクリーンのつまみを矢印の方向に約45°回して取りはずします。



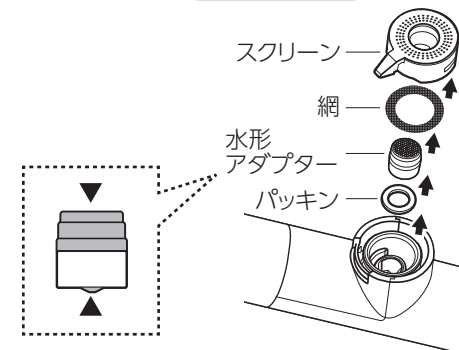
- ②図のようにスクリーンをはずし、スクリーンおよび網の汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除いてください。



※網を変形させないように注意してください。

⚠注意

けがをするおそれがあります
網のフチに注意してください。

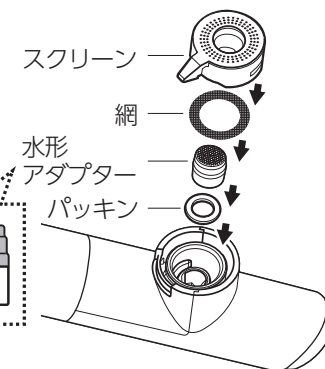
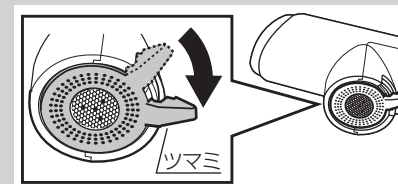


- ③水形アダプター上下網目部分の汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除いてください。

- ④お掃除のあとは、はずした逆の手順で組み立ててください。

⚠注意

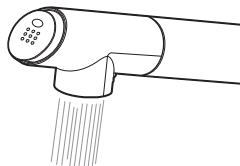
組み立ての際、スクリーンを十分に締め込んでください。締め込みが足りないと、吐水時に水の勢いでスクリーンがはずれる可能性があります。



お掃除・お手入れの仕方

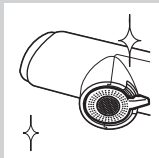
吐水部のお掃除の仕方(つづき)

- ⑤組み立てたあとは、水形がきれいに出ているか確認してください。



⚠️ 注意 体調を損なうおそれがあります

吐水部は常に清潔な状態を保つよう心がけてください。
汚れが付着した場合は速やかに清掃してください。
※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくなります。

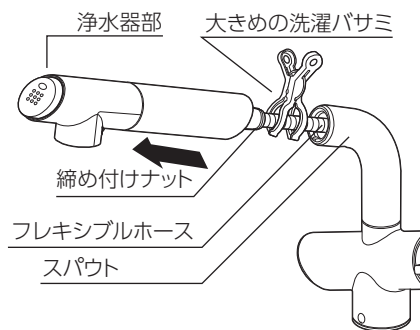


ストレーナーのお掃除の仕方

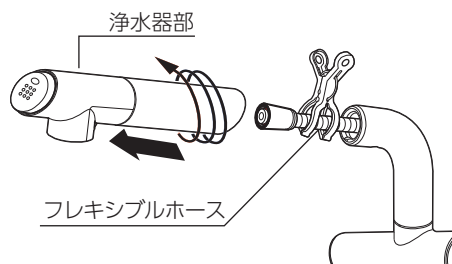
レバーハンドルを閉じた状態で、浄水器部をフレキシブルホースからはずします。

- ①図のように浄水器部を少し引き出し、大きめの洗濯バサミを取り付けます。

※大きめの洗濯バサミを取り付けずに浄水器部のみはずしてしまうと、フレキシブルホースがスパウトに入り込み作業がしにくくなります。



- ②浄水器部を回して取りはずします。
※フレキシブルホースを回すとホースがねじれ、故障の原因となります。



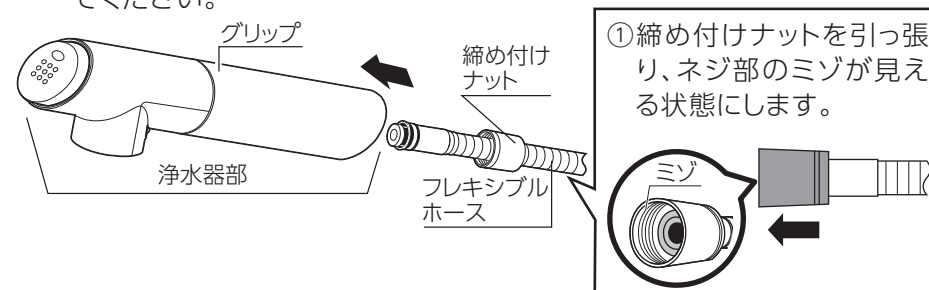
- ③浄水器部からヘッド、浄水カートリッジを取りはずします。
(p.16「浄水カートリッジの交換方法」を参照してください)

- ④グリップに水を流し、ゴミを取り除きます。



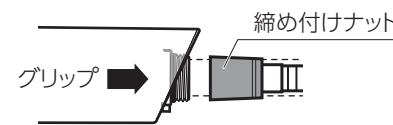
- ⑤はずした逆の手順で組み立てます。

※水漏れの原因となります。浄水器部と締め付けナットはしっかり締め込んでください。

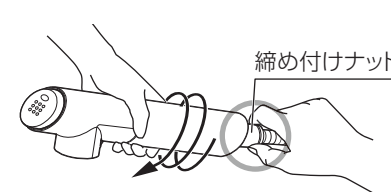


- ①締め付けナットを引っ張り、ネジ部のミジが見える状態にします。

- ②浄水器部のグリップを持って締め付けナットにまっすぐ入れます。

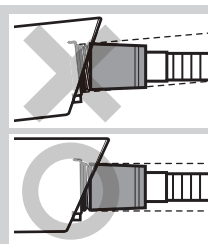


- ③締め付けナットを固定してグリップを回転させて取り付けます。



⚠️ 注意

浄水器部は斜めに取り付けしないでください。浄水器部側のネジ山が削れて故障や水漏れの原因になります。



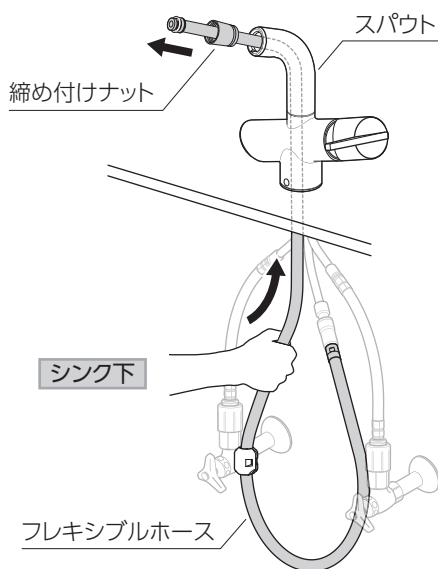
⚠️ 注意

フレキシブルホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因になります。

お掃除・お手入れの仕方

ストレーナーのお掃除の仕方(つづき)

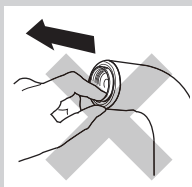
※フレキシブルホースの締め付けナットがスパウトに入り込んだ場合は、シンク下からフレキシブルホースを押し上げて、締め付けナットを押し出してください。



⚠ 注意

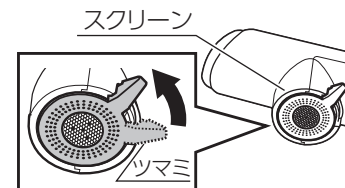
けがをするおそれがあります

締め付けナットの内側を指でさわらないでください。

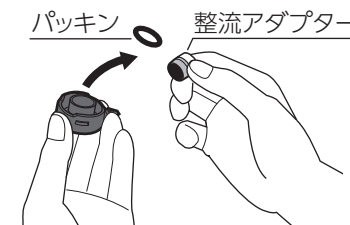


水形アダプターの取り替え方

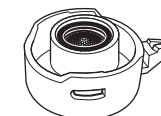
①スクリーンのツマミを矢印の方向に約45°回して取りはずします。



②スクリーンからパッキンと整流アダプターを取りはずします。



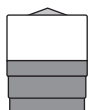
③泡沫アダプターに付け替え、②ではずしたパッキンをかぶせるように取り付けてください。交換後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



水形アダプター(整流・泡沫)について

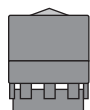
水形アダプターを交換するだけでストレート時の水の出方を変えることができます。

整流アダプター(標準装備)



ご購入時、取り付けられているアダプターです。

泡沫アダプター



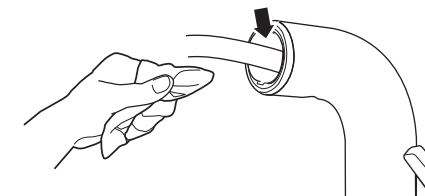
整流アダプターより流量が少ないですが、水の勢いは変わりません。約15%節水効果(原水時)があります。

※アダプターは小さな部品ですので、交換後は紛失しないよう大切に保管してください。

その他の部位のお掃除の仕方

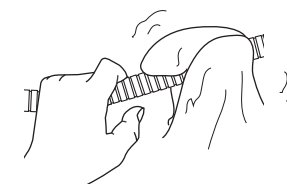
●スパウトのお掃除

スパウト内部も水が溜まり易いため、清潔な乾いた布で水分を拭き取ってください。



●フレキシブルホースのお掃除

フレキシブルホースは、月に1回程度引き出し、清潔な布を水で濡らし、固く絞って拭き、最後に乾いた布で拭きあげてください。



お掃除・お手入れの仕方

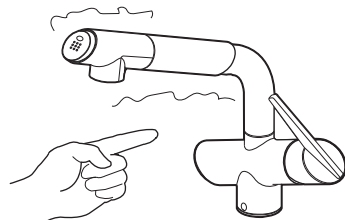
故障かな?と思ったら

定期的な点検

浄水器を安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をしてください。

●浄水器のガタツキ

ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やメッキ部品の表面が割れ、けがをするおそれがあります。万一、部品の破損やメッキ部品の割れを発見した場合は、修理を依頼してください。



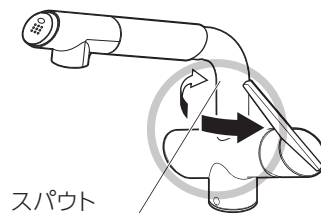
●配管周りの点検

長期にわたるご使用により、部品が劣化・摩耗などで破損する可能性があります。定期的に(2回以上/年)キャビネット内や点検口内など、配管周りのガタツキや水漏れがないか確認してください。



●スパウトを定期的に動かす

長時間動かさなかったときなど、水アカなどの付着によって動きが悪くなることがあります。スパウトを定期的に動かしてください。

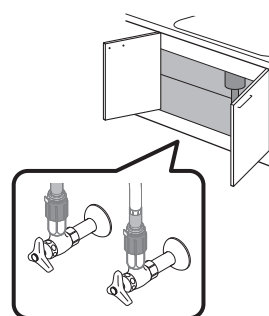


※無理に動かそうとすると配管に負荷がかかり水漏れの原因になります。動きが悪い場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや水が止まらないなど、緊急を要するときは止水栓または水の元栓を閉めてください。

シンク下の止水栓

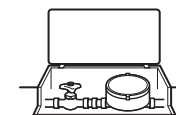


水の元栓

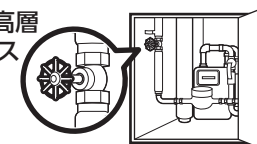
●キー式



●ハンドル式



●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス



お問い合わせの前に

異常が生じた場合は次頁の確認内容を点検し、調整してください。

次ページの確認内容を点検し、調整して良くならない場合や、項目に当てはまらない現象が生じた場合はタカギ・コミュニケーションセンターまでご相談ください。

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水

通話料 無 0120-328-413 電話受付:24時間(年中無休) <http://www.takagi.co.jp/>

【お知らせ】ウォーターハンマー(水撃)現象とは

急に水を止めたときに「ドン!」という大きな音をする現象です。ウォーターハンマー現象は配管や水圧など、さまざまな要因で発生し、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますので、レバーハンドルをゆっくり閉め、ウォーターハンマー現象を発生させないように注意してください。

こんなときは

お手入れ

故障かな?と思ったら

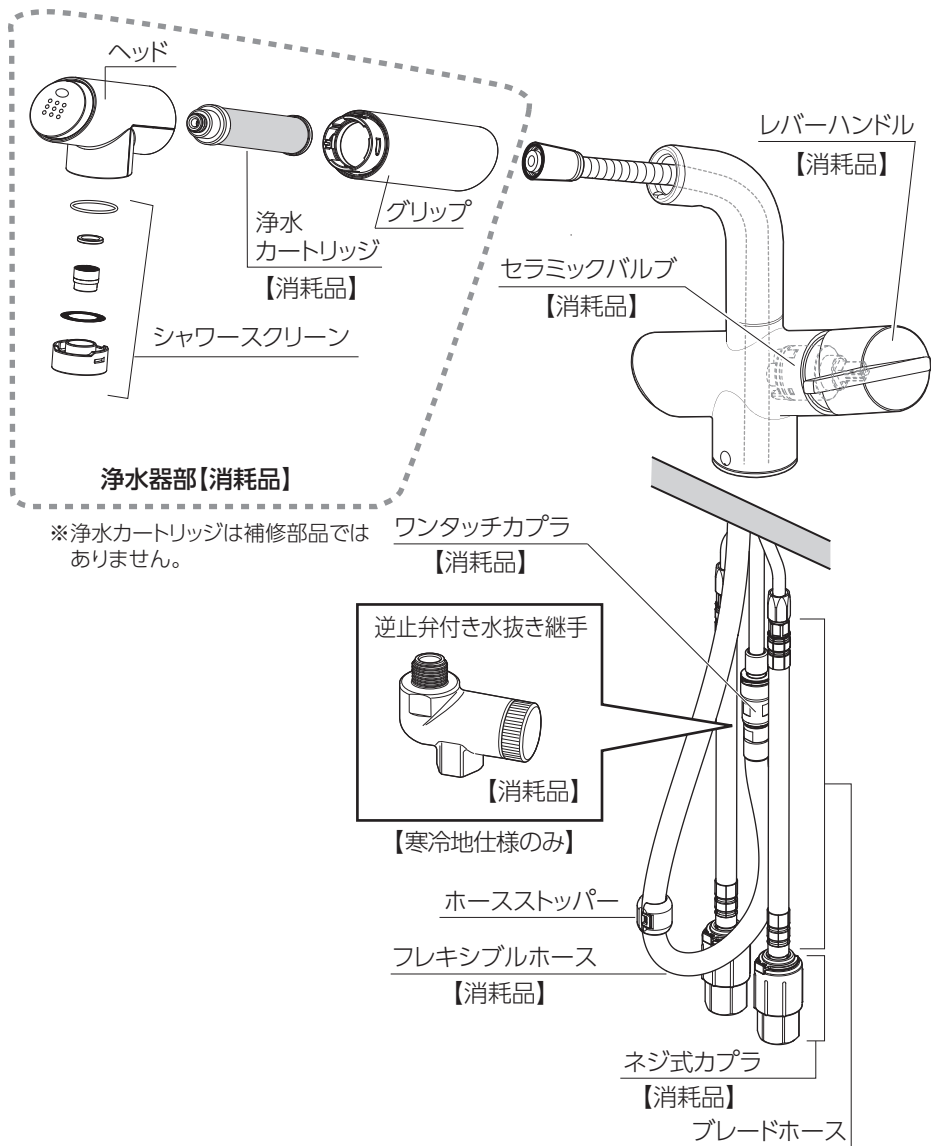
お問い合わせの前に(つづき)

現象	確認内容	参照ページ
浄水も原水も吐水量が少ない	止水栓が充分開いているか確認してください。	p.11
	吐水部またはストレーナーが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.21 p.25
浄水の吐水量が少ない	浄水カートリッジが適切な時期に取り替えられているか確認してください。取り替えられていない場合は、浄水カートリッジの交換をしてください。	p.15 p.16
高温しか出ない	水側の止水栓が充分開いているか確認してください。	p.11
低温しか出ない	湯側の止水栓が充分開いているか、水側の止水栓を開けすぎていないか確認してください。	p.11
	給湯器の温度設定が適切か確認してください。	—
温度調節がうまくできない	止水栓が充分開いているか確認してください。	p.11
	給湯器の温度設定が適切か確認してください。	—
	吐水部またはストレーナーが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.21 p.25
吐水時に浄水器部が飛び出る	吐水部またはストレーナーが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.21 p.25
斜めに水が出る	吐水部が目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.21 p.23
浄水時にピーと音がする/流量が少ない	浄水カートリッジが目詰まりしている可能性があります。浄水カートリッジの交換をしてください。 ※水質が著しく悪い原水の場合、浄水カートリッジの劣化や目詰まりが早くなる場合があります。	p.16

現象	確認内容	参照ページ
ホースが引き出せない/引き出したホースが元に戻らない	シンク下でホースもしくはホースストッパーが配管などに引っかかっています。ホースの引っかかりを直してください。	—
水受けボックスに頻繁に水がたまる	消耗品の摩耗や劣化が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。 ※結露などにより水受けボックスに少量の水がたまる場合がありますが、故障ではありません。	—
水栓根元に水がたまる	拭き取っても根元に水がたまる場合は消耗品の摩耗や劣化が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。 ※このような現象はご使用期間が短い場合でも、ゴミなどが部品に噛み込んで発生する場合があります。	—
水を止めたあとに、少しの間水が垂れる	吐水口部からの水垂れは浄水器部内部の残留水が排出されるものです。故障ではありません。	—
	吐水部にゴミなどが目詰まりして、水の流れが変わり、止水時に水のきれが悪くなる場合があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.21 p.23
	浄水カートリッジが目詰まりしている可能性があります。浄水カートリッジの交換をしてください。	p.16
スパウトの動きが悪い	スパウトを長期間動かさずに使用すると、可動部に水アカなどが付着し、動きにくくなります。定期的にスパウトを動かしてください。動きが悪い場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。	p.27

分解図

みず工房を末永くご利用いただくために、消耗品の定期的な交換が必要です。
 ※消耗品の交換は、お求めの取付店・販売店、またはタカギ・コミュニケーションセンターへご依頼ください。



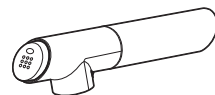
補修部品

製品機能の維持には欠かせない部品です。
 ご不明な点はタカギ・コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

※シリーズによって部品の形状は異なります。

お客様にて交換できる部品

■浄水器部



■シャワースクリーン

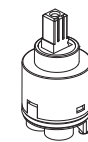


専門業者にて交換対応となる部品

■レバーハンドル



■セラミックバルブ



■ネジ式カプラ



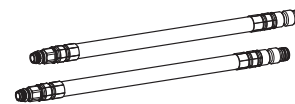
■ワンタッチカプラ



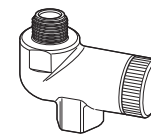
■フレキシブルホース



■ブレードホース (水側・湯側)



■逆止弁付き水抜き継手



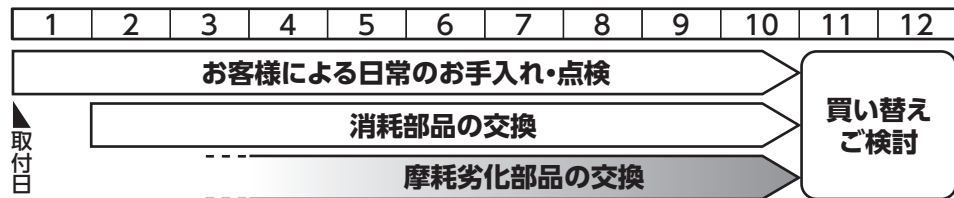
【寒冷地仕様のみ】

タカギに消耗品の交換や修理をご依頼の場合は、【出張料】+【技術料】+【部品代】の料金が必要です。

補修部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えが発生する可能性の大きいもの)の供給期間は製造打ち切り後10年です。

製品の点検・交換スケジュール

使用年数



消耗部品（機能を保つ上で消費され、やがては交換されるもの）と摩耗劣化部品（摩擦などにより摩耗し、適正な動作をしなくなるもの）を総称して消耗品と表記しています。

商品仕様

●水栓	
材料の種類	<原料樹脂>ABS樹脂、ポリアセタール、ポリブデン <金属材料>しんちゅう、ステンレス、銅 <ゴム材料>EPDM、NBR
使用可能な最小動水圧	0.05MPa
水栓使用水圧	0.05MPa(動水圧)～0.75MPa(静水圧)
耐熱温度	60℃
⚠ 使用上の注意	●製品の破損や変形による水漏れ事故防止のため、湯をご使用の場合は60℃以下で使用してください。●凍結させないでください。●本品は台所用浄水器です。浴室、洗面用には使用しないでください。●給湯器などの能力によって吐水温度、吐水量の変化があります。使い始めには、水温を確かめてから使用してください。●吐水口に汚れが付着した場合は、汚れを除去し、10秒以上通水してから使用してください。●水栓を拭くときは、必ずやわらかい布を使用してください。

保証書

無料修理規定

- 取扱説明書にしたがった正常な使用・維持管理状態で保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、ご購入店又は当社にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
 - ご転居、ご贈答品などで本書に記載のご購入店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - イ) 使用・維持管理上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ロ) 食洗器など、周辺設備の追加・改造に起因する製品及び周辺設備の故障及び損傷。
 - ハ) 温泉水、中水、飲料不可な井戸水利用による故障及び損傷。
 - ニ) お買い求め後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷。
 - ホ) 火災、地震、水害、落雷、凍結、結露、公害などの自然現象や住環境に起因する不具合。
 - ヘ) 砂やゴミかみによる不具合及びパッキン類・逆止弁・セラミックバルブなど消耗品の劣化に起因する不具合。
 - ト) 汚れや経年劣化による色あせなどの外観上の不具合、通常のお手入れ不足による不具合。
 - チ) 本書の提示がない場合。
 - リ) 本書にお客様名、ご購入店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後においてもご不明な点は、当社までお問い合わせください。

お名前	シリーズ/品名 ・JKシリーズ
ご住所 〒	蛇口一体型浄水器 みず工房コンバージョン
ご購入店名	保証期間
お買い上げ日 年 月 日	お買い上げ日から2年間 (登録により8年の延長保証) ※浄水カートリッジ・消耗品は除く

株式会社 夕カギ